

【がん種】 **大腸癌**
【レジメン名】 FOLFIRI+Pmab
【登録番号】 160525
【1コースの期間】 2週間
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【催吐性リスク】 中等度:カンプト、軽度:5-FU、最小度:ベクティビックス
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):カンプト, 5-FU、ノンビシカント(非壊死性):ベクティビックス
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 J Clin Oncol 28:4706-4713, 2010. Ann Oncol 25:107-116, 2014.
【点滴の時間】 [day1~]50時間35分
【費用】 編集中

【その他】 対象患者:RAS遺伝子変異-。原則、CVポートを増設して治療を行う。カンプト:UGT1A1に*6(*6/*6), *28(*28/*28), *6(-/*6)+*28(-/*28)のいずれかの多型がある場合には骨髄抑制が強く出現する。
ベクティビックス:調製後6時間以内に投与を終了し、1000mgを超える場合には90分で点滴静注する。
インフューザーポンプの使用可否:CVポートを造設している、外来で治療する場合(入院導入後に外来へ移行する場合には初回入院時でも使用可能、外来に移行せずに入院で治療を継続する場合には使用不可)。

インフューザーポンプ使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
	アロキシ静注 0.75mg	1 V		フィルター使用					
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A							
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V							
3	生理食塩液 100mL	1 B	側管	1時間	○				
	ベクティビックス点滴静注	6 mg/kg		フィルター使用					
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間	○				
	レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	200 mg/m2		フィルター使用					
	5のカンプトと同時に開始								
5	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	90分	○				
	カンプト点滴静注	150 mg/m2		フィルター使用					
	4のレボホリナートと同時に開始								
6	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
	5-FU注	400 mg/m2		フィルター使用					
7	5-FU注	2400 mg/m2	側管	46時間	○				
				インフューザーポンプ使用					
8	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後		○	○		

インフューザーポンプ未使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○				
	アロキシ静注 0.75mg	1 V		フィルター使用					
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A							
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V							
3	生理食塩液 100mL	1 B	側管	1時間	○				
	ベクティビックス点滴静注	6 mg/kg		フィルター使用					
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間	○				
	レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	200 mg/m2		フィルター使用					
	5のカンプトと同時に開始								
5	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	90分	○				
	カンプト点滴静注	150 mg/m2		フィルター使用					
	4のレボホリナートと同時に開始								
6	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
	5-FU注	400 mg/m2		フィルター使用					
7	生理食塩液 500mL	1 B	側管	46時間	○				
	5-FU注	2400 mg/m2		フィルター使用					
8	生理食塩液 100mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ		○			
9	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後		○	○		